## F-e（福生市環境マネジメントシステム）の取り組み

### ～私たちが変わり、私たちが変える　エコシティふっさ～

福生市では、独自の「環境マネジメントシステム」を運用し、庁舎・施設等をはじめとした市全体における環境配慮を推進しています。

事務活動等における省エネ・省資源等の実践など、一人ひとりが意識的に実施すべき内容に関して、**議員も参加して取り組んでいます。**

例えば、ごみ減量への取り組みとして、缶、ペットボトルなどの購入を控え、「マイカップ」を使用、割りばしの使用を抑制し、「マイはし」を使用しています。

身近なこととして、ごみの問題や大気汚染など様々な環境問題が顕在化しています。資源を浪費する生活スタイルを変え、身近な生活から自分たちでやれることは、小さなことでも実行し、環境にやさしいまちを創ります。

（略称 F-e( エフ・イー )：Fussa environmental management system の略）

▲議員の「マイカップ」と「マイはし」はいつも庁舎内給湯室に!

## 議員表彰

全国市議会議長会では、議員として多年にわたり地方自治に功績のあった方を表彰しています。

平成28年度においては、次の方が表彰されました。

**議員25年以上　田村正秋 議員**

# 特別委員会活動から…

## 議会改革に関する特別委員会

6月17日に委員会が開催され、前回の調査研究を踏まえ、次の2件の議題について各委員からの意見を求めました。主な意見は次のとおりです。

**1　議会の情報発信について（市議会だよりのレイアウト案を元に協議）**

・一般質問の文字が増え、議員の顔写真が入るのはよい。議案数が少ない場合や視察報告が入る場合などが想定されるが、適宜対応すればよいと思う。

・トップページ写真を何にするかが重要だと思う。

・藤枝市議会は議員自らが編集作業をしており、当市議会もこれを検討してはいかがか。

・現在、文章の作成、写真選定は議会事務局による。これは、第三者の編集による記事の公平性を担保している。議員自らの編集となれば広報委員会設置などの体制づくりをしなければ難しいと思う。

・藤枝市議会は各議員が伝えたい部分を各々独自に強調して伝えている。それが必要かどうかの議論が必要だと思う。

**2　タブレット端末の導入に関する調査について（5月26、27日の行政視察を踏まえて）**

・本会議は問題ないが委員会や全員協議会で使えているのか疑問を感じた。本棚のアプリは個人的に気に入っているので使ってみたい。

・ウィンドウズのオフィス365というソフトが使えることが分かった。大きさや操作性などからiPad（アイパッド）が使いやすいと思った。

▲逗子市議会のタブレット端末導入を視察

・iPadだけでなく様々なソフトがあることが分かった。どんなソフトでも使えば慣れるとは思うが、もっと検討していきたい。

・経費面、操作性を表にして比較してみるとよい。

・横文字の言葉が多く、慣れないので分かるようにしてほしい。市長部局で導入する機種と足並みを揃えるべき。

・ソフトとOSの様々な組み合わせが出来るので、もっと検討していきたい。

・逗子市議会は公用車を廃止して予算を捻出したとのこと。私たちも予算について考えるべき。

・タブレット端末を導入することで情報量が増え、質疑の質が高まったとのこと。その点でも、タブレット端末の導入は効果があると思う。

以上のような意見が出され、今後も引き続き調査していくこととしました。

## 横田基地対策特別委員会

6月17日に委員会が開催され、横田基地に関する5件の議題について審査しました。主な内容は次のとおりです。

**1　平成27年度防衛補助事業実施状況について**

民生安定施設補助事業は、市道幹線Ⅱ－19号線外1改良事業のうち第3工区と第4工区が実施された。事業費は1億6400万8千円、補助額は9438万8千円。防災食育センター整備事業には、事業費3億3885万円、補助額2億2957万2千円。

特定防衛施設周辺整備調整交付金事業は、消防団車庫改良工事（第四分団）、中学校給食用設備整備等事業のほか、基金に積み立てた6事業を合わせ、全8事業が実施された。交付額の合計は3億9840万4千円。

**2　空調復旧工事の補助率等の見直しについて**

防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律に基づく補助に関して、平成28年度から電気料金等維持費補助の対象施設（小・中学校及び保育所等）の3級及び4級の空調復旧工事の補助率が引き上げられた。

**3　平成29年度防衛補助事業概算要望について**

平成29年度防衛補助事業の概算要望として次の事業を要望している。

①第三小学校防音機能復旧（復機）工事設計委託（校舎・講堂）②第五小学校防音機能復旧（復機）工事設計委託（校舎・講堂）③中央幹線排水路改修に伴う調査委託④新扶桑会館整備事業⑤防災食育センター整備事業で、事業費13億1871万3千円、補助額10億2290万4千円。

**4　横田基地周辺対策等要望事項（案）について**

7月26日に委員会の全委員による防衛省及び北関東防衛局への要請行動を行うため、要望事項案について協議を行った。要望は全8項目。

**5　横田基地に関する情報等について**

①日米合同委員会合意について「再編実施のための日米ロードマップ」により整備が完了した施設を合衆国政府に提供する。

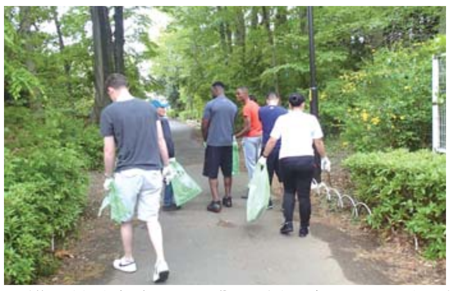
②横田基地所属機による災害支援として、熊本地震の災害救援活動のためC－130輸送機2機を派遣した。

③UH－1ヘリコプターの予防着陸について、4月22日キャンプ富士にて訓練中にエンジンサービスライトの点灯のため予防着陸を行った。

④人員降下訓練が3回行われ、市民から騒音による苦情が4件あった。

⑤5月8日にオスプレイ1機が横田基地に飛来した。

⑥横田基地有志によるボランティア活動等の報告があった。


▲横田基地有志による公園清掃ボランティア活動

## 編集後記

4月の熊本地震から引き続き、各地で大きな地震が続いています。熊本地震で甚大な被害がもたらされ、多くの方々が犠牲となりました。お亡くなりになられた皆様のご冥福をお祈りするため、今定例会の開会前には、黙とうを捧げました。心よりお見舞いを申し上げ、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

今定例会では、一般会計補正予算において、地方創生加速化交付金を活用して取り組む「酒蔵を活用した観光事業」について審議しました。酒蔵と日本酒をツールとした、青梅市、あきる野市、東村山市との地域間連携による広域的な事業です。地方創生推進の事業として、まちのにぎわいの契機となるよう期待されます。

会期中には「ほたる祭」が開催されました。梅雨時期にもかかわらず晴天に恵まれ、約3万5千人の来場者がありました。7月30日、31日には「町会・自治会の夏祭り」、8月4日から7日には「七夕まつり」が開催される予定です。皆様もぜひお出かけいただき、夏のにぎわいを楽しんでください。